

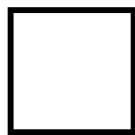
つ し しょう ちゅうがくせい とうあんぜんり よ う せんげん
津市小・中学生 スマホ等安全利用宣言

わたし とう ただ り よ う つぎ せんげん
私たちは、スマホ等を正しく利用するために次のことを宣言します。

- 1 こ じん とくてい じょうほう とう か こ
個人を特定できる情報はSNS等には書き込みません。
- 2 あいて いや き も ちよくせつ い
相手が嫌な気持ちになるようなことや、直接言えないようなことは書き込みません。
- 3 し ひと き けん
知らない人と危険なことにつながるようなやりとりをしたり、会ったりしません。
- 4 フィルタリングをかけます。
- 5 いどうちゅう べんきょう しょくじ と き
移動中や勉強・食事の時に「ながらスマホ」はしません。
- 6 とう し よう おそ ね ぶんまえ
スマホ等の使用は遅くとも寝る30分前までとします。(寝る時間は保護者と相談して決めます)
- 7 まよ こま かなら ほ ご しゃ まわ
迷ったり困ったりしたときは、必ず保護者や周りの大人に相談します。

れい わ ねん ど
令和4年度

つ し ちゅうがくせい けんしゅうかい
津市中学生リーダー研修会



とうあんぜんりょう あいことば
スマホ等安全利用のための合言葉

か

かお み き けんせい し
顔が見えない危険性を知ろう。

が

が めん ご こと ば えら き
画面越しだからこそ、言葉選びに気をつけよう。

や

やくそく ほ ご しゃ き
約束を保護者と決めよう。

く

ね じ かん か きん
(寝る時間、フィルタリング、アプリ、課金、
パスワードの管理など)

ス

つか
スマートに使おう。
じ かん
(時間のメリハリをつけられる)

マ

ま ちが じょうほう
間違った情報にまどわされない。

ホ

ほ ご しゃ まわ お と な そう だん
保護者や周りの大人に相談しよう。

つ し ちゅうがくせい けんしゅうかい へいせい ねん せんぱい さくせい つ し
津市中生リーダー研修会では、平成27年に先輩たちが作成した「津市
ちゅうがくせい あんぜんりょうせんげん ち かくこう かだいとう けんとう わたし
中学生ケータイ安全利用宣言」を基に、あらためて各校で課題等を検討し、私
ちのげんじょう せんげん は な あ せんげん さくせい
現状をふまえた宣言になるように話し合い、この宣言を作成しました。
しょう ちゅうがくせい ほ ご しゃ かた ち い き みなさま きょうりよく ねが
小・中学生、保護者の方、地域の皆様もぜひご協力をお願いします。

せんげんさくせい じ こ おも 宣言作成時に込めた思い

- ・ ちゅうがくせい しょうがくせい とう りよう じょうきよう
中学生だけでなく、小学生もスマホ・タブレット等を利用している状況があるため、せんげん たいしょう しょうちゅうがくせい
宣言の対象を小中学生としました。
- ・ がいこく なかま しょうがくせい わ ことば えら い さくせい
外国につながる仲間や、小学生にも分かりやすい言葉を選び、ルビを入れて作成しました。
- ・ さまざま かてい おや ひょうげん ほごしゃ とういつ
様々な家庭があることから、「親」という表現を「保護者」に統一しました。
- ・ たんまつ しよう あ まえ み まわ ひそ さまざま
タブレット端末を使用することが当たり前となったため、身の回りに潜む様々な危険を かんが せんげん さくせい
考えて宣言を作成しました。
- ・ しゃしん ないよう かって ほか ひと おく な
写真やプライバシーにかかわる内容を勝手に他の人に送ってしまうことを無くしたいと かんが
考えました。
- ・ つか とも おし じょうきよう
パスワードを使いまわしたり、友だちに教えてしまったりしている状況があるので、セキュリティに き つ かんが
気を付けてほしいと考えました。
- ・ こ じんじょうほう じょう け むずか
個人情報ネット上にあげられると消すことが難しくなります。また、ネットの とくめいせい わるくち か じょうきよう う じぶん
匿名性により、悪口も書きやすい状況が生まれています。自分できちんと かんが
考えて SNS等を利用できるようにしたいと考えました。
- ・ とう べんり めん ふあん ほごしゃ
スマホ等は便利ですがセキュリティ面では不安なこともあります。保護者におねが
願ひしてフィルタリングをかけて利用してほしいと かんが
考えました。
- ・ じてんしゃ りよう ひと おお とう うんてん ほこう とう
自転車を利用する人が多いため、スマホ等の「ながら運転」や「ながら歩行」等の「ながらスマホ」による こうつう じ こ ふせ かんが
交通事故を防ぎたいと考えました。

- 教科書のQRコードを読み取る、授業内容を確認する、分からないことを調べるなど、スマホやタブレットは勉強に必要なものとなっています。音楽を聴きながら、動画を流しながらなどの使い方をせず、勉強を頑張る小中学生になってほしいと考えました。
- 食事中は会話や食事に集中してほしいため、食事中は使わないという内容も宣言に入れました。
- スマホ等を就寝の直前まで使っていた場合、翌日の寝起きがつかなくなるという文部科学省の調査結果があります。遅くとも30分前には使用をやめて、目や脳をしっかり休ませることが大切だと考えました。
 (学校独自のアンケートを取った結果、3分の1の生徒が寝不足と答えた学校もありました)
- 津市ではゲームやSNS、動画視聴をしている時間が、全国や三重県と比べて高い状況があり、スマホ等の使い方について保護者との約束はないと答えた割合も高いため、保護者と約束を決めて、相談しながら使ってほしいと考えました。
- 宣言の内容をより分かりやすく、覚えやすくするために「かがやくスマホ」を頭文字にした合言葉も考えました。
- 一人一人が「自制力」を持つことが大切だと話し合いました。
- 「自制力」とはどのようなことか皆さんも考えてみてください。

令和4年度

津市中学生リーダー研修会